

## 令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

山ノ内町

No.	事業項目	事業名
	森林を支える豊かな地域づくり	志賀高原スキー場森林再生事業
事業費	2,435,070 円	(うち支援金: 1,224,000 円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

志賀高原には閉鎖されたスキー場があり、スキー場の所有者が森林再生をしていなく、放置された状態だと森林機能が発揮されないため、森林の再生が望まれる。

#### (2) 本事業の目的

放置された森林の再生することで森林の多彩な機能の復活を目的とする。また、森林の再生を目的とした植樹を実施するに当たり、地元住民を始めとし、広域的に参加を呼びかけ、森林環境学習の場として提供するとともに、森林づくり活動の支援を行う。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 山ノ内町 (志賀高原 蓮池スキー場)

(2) 対象者 地元住民、地元小学生、一般参加希望者 (県内参加者等)

(3) 実施方法 植樹面積: 0.15ha 樹種: 14 種 植栽本数: 4,000 本を植樹

(4) 事業目標及び当年度事業量

#### ①全体計画 (令和 3 年度～令和 5 年度)

志賀高原内で閉鎖されたスキー場に、毎年 0.15ha、植樹 14 種、植栽本数 4,000 本を植樹していく (令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症のため規模縮小)

②令和 3 年度実績 地元住民、地元小学生、一般参加希望者 (県内参加者等) により、植樹面積: 0.15ha 樹種: 14 種 植栽本数: 約 4,000 本を植樹。



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

植樹することにより森林を再生することができた。

また、一般の方とともに植樹を行うことで森林環境学習効果が期待できた。

### (2) 継続性

今後も毎年継続的に植樹していくことによって、森林の再生を図っていく。

### (3) 普及性

小学生及び高校生の森林環境学習の場として活用できた。

本事業を契機として、ユネスコスクール(中野西高校)の植樹した苗のモニタリング調査を実施する。

また、森林再生することにより、環境保全や治山効果が発揮される。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

閉鎖されたスキー場を森林に再生することで、水源林涵養・災害防止・景観形成など環境保全の観点から森林の大切さを周知することができた。

### (2) 課題

蓮池会場が今年終了となり、来年以降の植樹地をどこにするか検討が必要。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

植樹イベントを軸として、地元小学生や高校生の環境学習プログラムが構築されたことにより、10年・20年といった長いスパンでの活動が見込まれる。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)